

### 3. 分収割合・契約期間の変更等の検討について

#### 1) 方策と取組状況

##### ①『長期経営計画』

###### 採算林

- ・ 分収割合（公社：土地所有者）を 6：4 から 9：1 へ変更契約
- ・ 長伐期化のために契約期間を 50 年から 80 年へ変更契約

###### 不採算林

- ・ 明らかに採算が見込まれない森林から解約

##### ②『第 2 次中期経営改善計画』

- ・ 分収割合および期間延長ともに、H32 までに契約変更率 100%達成を目標設定
- ・ 解約については、H32 の目標を解約率 70%に設定

##### ③取組状況

- ・ 地域別に契約交渉チーム（注）を編成したうえで、重点的な取組を実施
- ・ 伐採時期が近い事業地を優先して交渉
- ・ 分収割合および期間延長の契約未更改地での伐採（材積分収を実施）
- ・ 契約更改実績および交渉実績は下記のとおり

表 契約更改の計画と実績

			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30.1
分収割合の変更	変更契約率 (%)	計画	50.0	80.0	100.0	—	—	65.0	75.0	85.0
		実績	0.7	16.6	35.6	51.1	57.4	65.5	70.0	71.8
期間延長	変更契約率 (%)	計画	90.0	95.0	100.0	—	—	95.0	96.0	98.0
		実績	82.6	90.1	90.2	90.4	93.8	94.4	94.9	95.1
契約解除	解約率 (%)	計画	30.0	80.0	100.0	—	—	62.0	64.0	68.0
		実績	0.0	40.1	57.6	58.7	58.7	61.1	62.2	62.7

表 契約交渉の実績

交渉回数	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度見込み
変更件数（年間）	3 5 0	2 1 5	1 4 8	1 4 4
訪問等回数（年間）	5 6 2	5 6 5	6 6 6	5 6 9

（注）

伐採時期や契約期限が迫っている事業地の変更契約に対応するため、平成 26 年度から県内を湖南、湖東、湖北、湖西の 4 つの地域に分けて、地域別担当制を導入し、組織的に対応してきたもの。特に分収割合の変更で成果があった。

## 2) 課題

- ・ 期間延長の変更契約についてはおおむね計画通りであるが、分収割合変更の進捗が遅れていること
- ・ 残された未更改地は、土地所有者の理解が得にくく、交渉が困難であること
- ・ 契約変更等の遅れに伴う伐採事業への影響があり、対応が必要となること
- ・ 不採算林の解約について、同意の得られない土地所有者がいること

## 3) 検討事項

- ・ 交渉人員（分収割合、期間延長）

分収割合変更契約の 100%達成は非常に困難な状況。さらに年数が掛かると思われるなか、限られた職員でどのような体制で取り組むか。 ⇒交渉を優先する事業地に絞って、専任の担当者が集中的に取り組む。
- ・ 交渉の方法（分収割合、期間延長）

交渉の相手方は、相続（個人）や役員交代（財産区等）によって、林業や現地を知らない人が増えているなか、どのように説明するか。 ⇒林業の現状や伐採の方法、伐採後の森林のイメージなどの資料を用いて丁寧に説明し、交渉記録を整備する。
- ・ 解約不同意への対応

不採算林の解約について、どのように土地所有者の理解を得るか。 ⇒伐採収益が見込めず、公社として管理が続けられないことを丁寧に説明してもらい、返地後の国や県等の支援策の活用を進める。